

沖繩・土佐之塔 慰霊巡拝に参加して

佐川町 澤村 幸子

昨年11月16日～18日まで、沖繩・土佐之塔慰霊巡拝に参加しました。

一昨年に続き2度目の参加となる今回は、前回参加した時のことを伝えた際、関心をもった主人も同行してくれました。

現地では、沖繩平和祈念公園、玉泉洞、斎場御嶽などを見学する中で、色々なことを学ばせてもらいました。斎場御嶽という場所では、琉球国の成り立ちを知り、すごいパワーを感じました。首里城公園に行けるのを楽しみにしていたので、先の火災消失は残念でした。沖繩の象徴であり、沖繩の方の大切な建物であると感じます。早い復興を望みます。

3日目は早朝、沖繩県護国神社で手を合わせ、その後八重瀬町に移動し、土佐之

塔での慰霊祭を行いました。私は慰霊祭の最中、会ったことはない祖父の事を考えながら慰霊の塔を見つめていました。悲しいのにずっと何かに包まれているような感覚を覚え、祖父を近くに感じていました。

日本最後の激戦地となった沖繩は、少し足をのばせば戦跡があり、それぞれのもつエピソードには胸が締め付けられ、なんと学ぶことの多いことかと思ひ、戦争と平和への思いを強くしました。

日本においては、わが祖父最後の地、フイリピンに一番近い場で手を合わせ、祖父をはじめご英霊の方々への哀悼を捧げるとともに、世界の恒久平和を祈念しました。

慰霊祭に参加し、昨年も感じたのですが、八重瀬町の方々のご協力で厳かに、また心のこもった慰霊祭が行えることは、感謝の気持ちでいっぱいになります。慰霊祭に参加してくださる小・中学校の児

童・生徒さんたちは、沖繩であった戦争のことを学んでいることでしょう。きっと全国でも学んでいるのですが、それぞれ少し受け止め方が違うのかもしれないと、ふと思いました。そのことが平和への思いと大きく関わっていくのでしょうか。私たちにできることは何でしょうか。肉親の慰霊をしつつも、「平和とは…」と強く感じさせられた3日間でした。

慰霊祭にご一緒いただいた皆様、お世話になりありがとうございました。これからも皆さんと一緒に、英霊顕彰や戦争体験をお聞きし、語り継いでいくことが出来ればと思っています。

※令和2年10月高知県遺族会報掲載